

低頻度大水害ハザードマップ検討会の進め方

目的: 1/1,000年程度の低頻度大水害を想定し、ハザードマップの作成、対策の検討を行うことで、河川管理者、地方自治体の危機管理能力の向上を図る。

第1回

- ①過去の大洪水の生起確率について
- ②計画対象流量の決定方法について

第2回

- ①浸水想定区域について
- ②氾濫シナリオについて

第3回以降(予定)

- ①課題の整理
- ②モデル市町村におけるハザードマップ(案)の作成
- ③避難計画などの対策(案)の検討

検討成果

- ①低頻度大水害ハザードマップ作成マニュアルの作成
- ②低頻度大水害に対する市町村地域防災計画(案)の作成